

生徒指導通信

令和8年7月1日
熊野町立熊野東中学校
生徒指導部

～「やり切る力」を胸に、最高の舞台を共に創る～

運動部に所属する3年生の皆さんの多くにとって、部活動の集大成となる「安芸郡・江田島市夏季総合体育大会」が目前に迫ってきました。1年生の頃から、時には悩み、壁にぶつかりながらも、仲間と共に汗を流してきた日々は、皆さんの人生にとってかけがえのない宝物です。3年生が最高の舞台を迎え、そして1、2年生がそのバトンをしっかりと受け継ぐための「心構え」について、東中生としてのプライドを確認しましょう。

1. 3年生へ：自分にとっての「最高の終わり方」をデザインしよう

大会を前にして「悔いのないように」という言葉をよく耳にします。しかし、この言葉が「絶対にミスをしてはいけない」というプレッシャーになり、過度な緊張を生んでしまうこともあります。そこで、皆さん自身に問いかけてみてほしいのです。「大会が終わったとき、『この部活をやっていて本当に良かった』と心から思えるのは、どんな瞬間ですか？」

- ・最後まで仲間と声を掛け合い、走りきれたとき？
- ・負けていても、最後まであきらめない姿勢を見せ合えたとき？

自分なりの「最高のゴール」を自分で決めて舞台に立つこと。それが、結果というプレッシャーに潰されず、自分らしく笑顔で最後の瞬間を迎える秘訣です。

2. 1・2年生へ：先輩の「背中」から学び、伝統を繋ごう

3年生の引退は、1・2年生にとって「次は自分たちがリーダーになる」という自覚を持つ大切な節目です。

○「感謝」を形にする

これまで指導し、引っ張ってくれた3年生に対し、全力の応援や準備を通して感謝を伝えましょう。

○「本物」の伝統を引き継ぐ

3年生が築いてきた粘り強さや「やり切る力」を一番近くで見て学んでください。その姿を目に焼き付け、明日からの自分たちの活動にどう生かしていくかを考えること。それが東中の伝統を守り、さらに発展させる力になります。



3. 「チーム東中」で承認し合う雰囲気を作り切る

ある運動部活動の研究では、部員同士が互いを「承認（認め合うこと）」し、支え合う雰囲気があるチームほど、引退を前向きに捉え、人間的に大きく成長できると報告されています。

○ミスを責めない

緊張感が高まる時期こそ、「冷やかし・からかい」ではなく、励ましの声を掛け合しましょう。

○感謝を力に変える

大会前に「感謝したい人の名前」を思い浮かべてみてください。家族や仲間への感謝の気持ちは、土壇場で踏ん張る大きなエネルギーになります。

4. 日常の「当たり前」が、本番の強さを創る

大きな舞台で実力を発揮するためには、心の安定が不可欠です。だからこそ、学校生活の土台を最後まで「やり切り」ましょう。

5. 次のステージに向けて：自律した東中生へ

最後の大会という大きな山を越えた時、皆さんの「やり切る力」は確実にレベルアップしています。これからは、部活動という特別な舞台ではなく、日々の授業や「時・場・礼」といった「当たり前の生活」の中で、その力を磨き続けてください。

6. 部活動引退後の3年生の部活動への参加について

○引退後は、次の項目を満たした生徒は部活動に参加できます。

- ・部活動の参加について保護者の承諾がある。
- ・顧問の許可がある。
- ・担任の許可がある。
- ・「部活動参加申込書」を提出する。

○部活動へ参加する生徒は、次のルールを厳守すること。

- ・登下校及び、校内では学校のルールを守り行動する。
- ・各部活で取り決めた決まりを守り、顧問の指示や指導に従い活動する。
- ・下級生の手本となるよう、自覚をもって活動に取り組む。

※上記のルールに反する行為を指摘された場合は参加の許可が取り消されます。

「当たり前」のもう一歩先へ。

熊野東中学校の誇りを胸に

最高の舞台を自分たちの手で「やり切って」創り上げましょう！